

紙面紹介

- 1頁 会長あいさつ、総会通知
- 2頁 学校長あいさつ  
教室今昔
- 3頁 この頃思うこと  
生徒の活躍
- 4、5頁 後輩、全・定・奮戦す
- 6頁 第二体育館・支部連絡先
- 7頁 事務局便り、予算決算他
- 8頁 同窓会規約、編集後記

福島県立郡山北工業高等学校

同窓会報

発行所  
〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1  
福島県立郡山北工業高等学校同窓会  
郡山 (0249) 32-1199  
発行者 渡辺達英  
編集者 広江力男  
発行部数 7,000部

印刷所  
㈲ヤマ孔房  
〒963 郡山市菜根1 6 21  
☎ 22 3533代

年々家庭内暴力、校内暴力が低年令化し、小学生にまで及んでいるが、悲しいことである。仕事中にラジオで聴いたことだが、P・T・A等で学校に行くといつても、「共働きの家庭が多くなっているが、非行に注意する様に」と云われるが、統計的に見ると、家族のいる家庭の子に非行が多いと云っていた。又最近離婚の家庭がふえているが、この様な父子、母子家庭の子に非行が多いと云う。子供の教育は学校にまかせられるものでなく、特に道徳教育については、家庭の躰である。字の如く「身を美しく」であるから、これが身に具われば非行などはないわけである。然し父権を失った家庭が多いと聞いている。学者やマスコミ等がヤタラと、子供を怒るな、叱るな、叩くな等と云うものだから、それが教育だと思つて、子供の云いなりになつている親もいる。子供に教育の出来ない親と、親



「教育に思うこと」

同窓会長 渡辺達英

を尊敬しない子供達では、家庭が良くなるはずがない。今日のNHKテレビで昭和二十四年製作の映画、「青い山脈」(石坂洋次郎作)が放映されたが、戦後の廃頹と民主主義勃興のジレンマの中で、教師と生徒、父兄、恋人、関係者等が、事件の中で対応する生活がユ一モラスに、活々と画かれていた。学生時代に見た作品であったが、今の学校生活とは大分違う様に思われた。

教育は愛情であり育みである。教師の教育に対する考え方で、生徒の思想が変つて来るものである。愛情ある教育で非行を防ぐことは十分に出来るはずである。然し学校が自然に非行者をつくつていられる場合もありうるので、常に温情ある教育が望ましい。

教育の中でも一番大切なものは小学校教育である。人間形成は小学校教育で三〇%達成すると私は思う。然しその小学校教育が一番

遅れているのではあるまいか。私でなければ教師でないと言ふ様な意欲ある教師を育成したい。特に子供達の特性をのびし、活気ある学級づくりをする教師。この頃教育審議会で学校の自由化が提案された様だが、黒柳徹子著「窓ぎわのトッチちゃん」や、ラジオで聞いた、「もみの木学園」? だったか、特殊教育に情熱をもやす、教育に期待をしたい。

同窓会役員名簿

会長	24機	渡辺	達英
副会長	26機	佐藤	正夫
会計	26機	今泉	善治
監事	41機	今泉	顕喜
	24機	塚原	健二
	26機	加藤	和夫
	42機	滝田孝太郎	

同窓会員数

計	郡山北	郡山工	郡山西	郡山北	郡山工
	三三七	三九三	三三三	三三三	三三三
	三三七	三九三	三三三	三三三	三三三

昭和60年度 同窓会 総会通知

昭和60年度定期総会を左記のように開催いたします。多数参加して下さいませようご案内申し上げます。尚新会員はご招待いたしますので会費は無料です。

記

- 一、五月十八日(土) 受付午後5時30分 開始午後6時より
- 一、場所 多楽食堂 郡山市堤下町
- 一、会費 三千元 (当日持参下さい) 懇親会

文房具・事務用品・ファンシー・アクセサリー・画材

有限会社 **渡 達**

代表取締役 渡辺 達英 (24年機卒)

郡山市麓山通り (市民会館入口) TEL 22-1159



# 「十年ひと昔」

学校長 松本 紹夫

同窓生の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととおよごび申し上げます。本校も間もなく北工として創立十周年を迎えることとなります。学校も本年度は第二体育館の完成などで施設、設備は一層充実され、教育内容の近代化と共に、向上発展の一途をたどっております。

郡山市八山田地区内に四方坪(現在三万坪)の校地を有する、全国一の工業高校設立を計画したのは、旧郡工六代目校長の齊藤重千代氏で、同氏は郡工校長に就任された昭和四十六年以来、郡工の移転拡充計画を機会あるごとに提唱し、当時の社会情勢等との関係もあって旧郡工、旧西工の統合による北工の新設ということになったことは各位のご承知のとおりであります。

北工は昭和五十一年から丘陵地を自衛隊の協力で整地し、村越建設KKの手で教室棟一棟、実習棟一棟を完成し、昭和五十二年四月

郡山北工業高校八山田校舎として、電気、電子、情報の三学科で発足し、昭和五十四年には全日制、定時制の全学科の移転を完了し、その後着々と整備され現在の姿になりました。

広々とした良い環境に恵まれた本校も、昭和五十九年六月に八山田地区が市街化区域に編入されたことにより、区画整理事業が昭和六十年から実施され、本校創立十年目に当る昭和六十一年に同窓生の方々が来校される折にはその変容に目を見はるることになると思います。更に昭和六十五年頃には基盤の目のような道路と多くの住宅に昔日の八山田の面影を探すのに苦労されるのではないかと思います。

「十年ひと昔」という言葉が時代の流れをはかる尺度とされておつたのは一九五〇年以前のごときで、科学の急速な発達には人間の生活環境をかえ、便利にしてくれましたが、精神生活のサ



# 教室今昔

教頭 宗形 悦郎

卒業生の諸君、学窓を去り、社会に出て、あるとき、学校生活の思い出話に花が咲いたとする。さて、どんな話題が出るのだろうか。先生の話、友人の話、修学旅行の思い出等が出ると思う。しかし忘れて欲しくない教室での思い出を――。

高校三年間、若いキラキラした眼が黒板に注がれた教室、午後の授業の先生の話が子守唄のように感じた教室、試験問題が解けなくて苦しんだ教室、学校祭での華やいだ教室、そんな思い出がタイムトンネルの向う側に存在しないだろうか。ここで現在北工の教室の様子を紹介しよう。普通教室

イクルを短かくし、しかも複雑化して、いまや「五年ひと昔」いや「三年ひと昔」といつても過言ではなくなりまして。現代社会の目まぐるしい変化に対応しながら、たくましく生き抜いていくためには、自らの努力によって新しい知識、

行動を身につけ、積極的に未経験な課題に取りくんでゆこうとする姿勢が大切です。このような生徒を育成するために、教職員一同努力をしております。同窓生各位の一層のご支援とご鞭撻をお願いします。

は30あります。南に面して全部鉄筋コンクリート造り、アルミサッシの窓、壁は明るいクリーム色、勿論スチーム暖房、黒板は2.5m×1.2mのわん曲黒板、最前列両端でも黒板が光って見えないなど文句を言う生徒は居ない。机の天板に彫刻などはないから下敷きは必要なし、蛍光灯が14本もついているから夜も煌々と明るい。北工以前の卒業生から見れば、なんと恵まれた教室だろう。天井も窓も、床も隙間だらけの木造教室、暖房といえば機械科の鑄造実習で作ったタルマストーブ、燃料は薪や石炭、燃料当番が忙しかった。黒板は

塗料が剥げ、前列両端の生徒からは光って見えない。諦めているので、不平も言わないでカンでノートをとっていた。しかし、そこには多くの若い瞳が輝いていた。教室は教師と生徒との真剣の場であったのだ。教室の廊下を学校で一番美しくしよう、米糠で磨いた生徒が居た。又、毎日窓ガラスを磨いていた生徒達、それは教室を美しくすることによって自己を昇華しようとしたのだろう。卒業生の諸君、北工を訪れて欲しい。そこにはピカピカ光る廊下があり、明るい教室があり、大きな黒板があり、そして多くの生徒の真剣な目を見ることが出来るでしょう。北工には郡工、西工の生徒の伝統が生き続けています。

教室は卒業生諸君に、永劫の炎を与えてくれるだろう。



塗料が剥げ、前列両端の生徒からは光って見えない。諦めているので、不平も言わないでカンでノートをとっていた。しかし、そこには多くの若い瞳が輝いていた。教室は教師と生徒との真剣の場であったのだ。教室の廊下を学校で一番美しくしよう、米糠で磨いた生徒が居た。又、毎日窓ガラスを磨いていた生徒達、それは教室を美しくすることによって自己を昇華しようとしたのだろう。卒業生の諸君、北工を訪れて欲しい。そこにはピカピカ光る廊下があり、明るい教室があり、大きな黒板があり、そして多くの生徒の真剣な目を見ることが出来るでしょう。北工には郡工、西工の生徒の伝統が生き続けています。

教室は卒業生諸君に、永劫の炎を与えてくれるだろう。

◆作業服・制服・白衣 製造◆

## 株式会社 浜津被服

代表取締役社長 浜津 藤枝  
専務取締役 浜津 幸平 (機3期卒)

福島県郡山市清水台二丁目5番3号 ☎32-2631

★新刊 書籍・雑誌・教科書・北工教科書  
辞典・参考書・文庫 etc 取扱店

## (有)松文堂書店

堂前店 郡山市堂前町(如宝寺前) ☎322362  
さくら通り店 郡山市清水台(八幡プラザ) 1F ☎221735



# この頃思ふこと

教頭 菅野 祐一

○月○日  
二年生のA君が学校を止めたいと言ってきた。前にもそのような事を言ってきたが、担任と話し合った結果、高校だけは卒業するという事に決まりようやく落着いたところだった。さつきく何度かにわたりA君と話し合ったが気持は変わらず、とうとう止める事になってしまった。主な理由は、バイクに乗りたいたいからという事だったが、もっと別な原因もありそうだ。

目先の快楽のみを求め、将来にわたる見とおしを立てる事もなく、自分の考えのみで判断して他人の意見を聞き入れない。好きな事をやるんだという短絡した考えや耐性のなさがこうした行動となってしまうものだ。最近になって、A君も定時制でも出ようかと考えるようになったとき。

○月○日  
昨年の四月採用になった

ばかりの新米先生が、こう話しかけて来た。  
『教諭採用になる前の一年間は、ある工業高校で講師をしていたが、とても行儀が悪かった。私は、工業高校の勤務は、はじめてだったので普通科とは違うんだなと思っていた。』

ところが、ある大会で北工に生徒引率をして行ったら、北工の生徒は栗坊子にしていたとでも行儀がよかったので驚いてしまった』と。

この話を聞いて、私は自分がほめられたように嬉しかった。それと同時に、学校の雰囲気が大切なんだと思った。よい環境のもとで生徒同志が供みができるようにしてやらなければならない事を痛感した。

○月○日  
今年の資格試験合格者の集計が手もとに届いた。ガス溶接、電気工事士、危険物取扱者、計算技術検定、ラジオ技術検定と多種・多

様な試験に延千六百余名が合格した。ざっと計算すると、今年だけで一人平均一・三個ぐらいの資格を身につけた事になる。これが三年間続くわけだから、卒業までには四、五個の資格や検定に合格する勘定になる。これは、平均的な数であるから、多い人は十個近くも取るという。さすがは工業



# 生徒の活躍

教頭 森 義 男

同窓会員の皆様には、益々御清栄のことと拝察申し上げます。また日頃絶大な御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度は、本校生みの親ともいへば松本校長先生を推戴申し上げ、定時制には四名の気鋭の先生方をお迎えし「教育活動の活性化」を具体的目標としてスタートいたしました。

春風や  
闊志いだきて  
丘に立つ  
高浜虚子  
希望と夢を抱き、その実に邁進する姿勢を託しま

高校だけあって、いろいろなライセンスに挑戦している有様は、頼もしい限りである。  
芸は身を助けると言われる。多くの資格を身につけてゆき、身につけた資格を最大限に活用してこれからは頑張ってもらいたい。そして校訓の一つ「特色」を発揮してほしい。

した。  
今年を振り返ってみますと、全国定通体育大会に野球部・卓球部・軟庭部・柔道部総勢二十二名が予選の県大会を経て堂々の出場を果たしました。中でも野球は、「もう一つの甲子園」で大活躍をし、ベスト8に勝ち残り地元の声援にこたえてくれました。この際、同窓会及び会員の皆様には心からなる御支援を賜りましたこと衷心より御礼申し上げます。

また、二年電気科のA君は会社の職場改善推進提案に応募し、最優秀の栄に輝

き、特別昇給の特典に浴しました。これもA君の日頃のたゆみない努力の成果といえましょう。私も定時制教育に携わり二年となりましたがこのような生徒の活躍を励みに教育的営為に勤しめることを先生方と共に光栄に存じております。

生徒会はまた「あいさつ運動」を展開し、「あいさつ」の励行から「清らかな一日」を過ごそうと提案し、社会生活の基本の確立に努力しております。  
ところで定時制では生涯教育の観点からまた専門性の取得寄与の立場から、専修コース、今年度より聴講生制度を導入しましたのでどしどし応募していただきたく存じます。

末筆ながら、勤労生徒の就学、健全育成のため一層のお力添えをお願い申し上げますとともに、同窓会及び同窓会員の皆様の今後の御発展を心より祈念申し上げます。

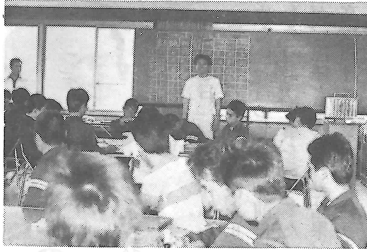


工作機械 / 板金機械 / 熔接機材 / 作業工具 / 測定工具 / 研磨材

## 株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤 英 二 (28年度建築科卒)

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号 ☎ (0249) 33-0611 (代)



▶生徒会室風景

# 後輩、全・定奮戦す

## 文武技三道、北へ南へ

### ― バレー・バト・体操台頭 ―

## 文化意識を高める

### 生徒会、この一年

#### ▼生徒会

生徒総会が終わって、やっと一息つくことができる。次の大きな行事は校内球技大会(7月11日から12日)である。球技大会は第8回を数え、実施方法が定着しており、各部等の協力により、円滑に行なわれた。今年にはハッスルしたクラスが多かったせいか、怪我人が目立った。2学期に入ってから、9月に役員改選が行なわれた。今年は例年になく、立候補者が少なく、無競争当選者が多かった。6月に行なった。リーダー講習会に参加した者の中から何人かが積極的に立候補するのであるが、今年はいなかった。リーダー講習会そのものは、参加した生徒が、活き活きと行動し、役員養成という意味では、もう一歩であった。11月に行なった文化行事の準備は9月中旬から本格的に始めた。各文化系部の展示発表は定着しているが、一日使って体育館で行う、クラス発表は3回目、まだ形が定まっておらず、

何をどのようにしてという段階から始めなければならなかった。「運動関係の行事があるなら文化系の行事もあった方がよい。北工生の文化意識を高めよう」という意図で始めたのだが、産みの苦しみは、まだ続きそうである。決定まで、中央委員が何度か集まって議論した。白熱する議論を、傍で聴いていて、これでののだという感を強くもった。当日、第四部としてサントバグ氏の講演を用意した。日米高校生の相違というテーマで講演をお願いした。話は経験談から始まって、面白、おかし話で場内をわかせた。1月25日から29日の5日間、やまのいカルチャーセンターで、写真・美術・アニメの3部が合同展示会を行なった。各部の作品は2学期に作成したものが多く、一年間の作品を集めるとかなりの数にのぼる。この合同展は、三部にとつて大きな励みになっている。

(教諭 吾妻健則)

## 京都駅伝をめぐす

#### ▼陸上競技部

戦力不足を補なおうと、冬季練習から目標に向かつて、頑張ってきたが、例年になく雪が多く思うような練習が出来ず不安をいよなきながら、シーズン向かえいた。トラック種目の活躍は殆んどなく寂しいものであったが、県高校大会の走中跳決勝で鈴木貴雄が2位、安瀬が棒高跳で6位に入賞し、なんとか面目を保ち2種目2名が東北大会出場を果たした。その後県総体では少年B棒高跳決勝で安瀬が優勝し、奈良国体の出場権を獲得、1人で気を吐いた大会であった。長距離ブロックは、年度当初から県高校駅伝を目標に、走り込みと努力することで着実に力をつけ本番を迎えたが、1区でのアクシデント(区間13位)が他選手に動揺をあたえ一生懸命頑張ったが、6位に入賞することが精一杯で二年連続東北大会出場は成らなかった。しかし10位以内の成績を3年間続けたことで、選手にも自信が芽生え今後は各人のレベルアップを図り、京都駅伝を

目指したいものである。(教諭 星 保男)

## 開成山の夢、無念

#### ▼野 球 部

まれにみる降雪と毎日が除雪の繰り返しで始まった。今年は、グラウンドでの練習が出来ず遠征先でやつとバットが振れる状態でした。前年の新人戦で県大会に出場し、部員売々それなりの自信と期待をもっていたが、春季大会、県中選手権大会ではいまいっつ力を発揮することが出来ず上位大会へ進むことが出来ませんでした。夏の大会では久しぶりにいわき会場となり、二回戦猪苗代高校、三回戦白河高校、四回戦福島工業高校と順当に勝進み、第六〇回記念大会で優勝し甲子園出場をはしたあの時と同じムードで、しかも対戦相手は磐城高校でしたので、これに勝って開成山球場へと皆頑張りましたが結果は実力を出しきれず無念の涙のみでした。新チームとなった秋季大会では課題が多く出てきており、この冬期間身体作りを励げみ新たな目標に向って頑張っていますので、皆様のご支援ご

指導をお願いいたします。(教諭 三田村紀忠)

## 県体七年

### 連続栄冠

#### ▼ソフトボール部

今年度は大きな大会に出場出来なくて残念の年でした。全国大会、国体の毎年のように出場していたのが力不足で出場出来なかった。だが三月下旬に開催された第二回全国春季選抜優勝大会に南東北代表として出場したこと第一回戦は大阪府代表大阪産業大付属校と対戦し三対八で一回戦敗退、立ち上がり投手の乱れが、命取りになった試合でした。今年のおもな成績は次の通りであります。

- 4・28 県春季選抜大会五年連続優勝。
- 6・7 県インターハイ予選は決勝で福島高と延長の未敗れる。
- 7・23 県総合大会7年連続七回目的優勝。
- 8・24・26 東北ミニ国体(山形)一回戦敗退。
- 10・21 県新人大会第三位。

(教諭 宗像 重武)

# 県高体連 三度目の優勝

## ▼軟式庭球部

岡部先生(田村高)から四月に顧問を引き継ぎ、私も生徒もとまどいを感じながらのスタートでした。県高校大会では、団体戦二年連続、三度目の優勝を果たしました。個人戦では、男子黒沢・東嶋組が優勝、女子佐々木・安田組がベスト6で、東北・全国大会への出場権を得ました。東北大会では、黒沢・東嶋組が三位に入賞しました。県新人戦団体戦では、予選では勝っている船引高と決勝で対戦、技術よりも精神的な弱さから敗れ二位でした。これを良い教訓とすべく十一月から体育館での夜間練習に入り、県高校インドア大会では、団体優勝、個人一・二位と東北大会への出場権を独占することができました。チャレンジ精神を忘れず、東北インドアでは全国大会のキップを、新年度は三年連続、四度目の優勝を手に入れたのだと思っています。

(教諭 川口 芳彦)

# インターハイに 出場

## ▼男子バレー部

名実ともに実績をもつ片岡英一先生をコーチに迎えることができ、大きな期待をもってシーズンに入りました。エース小山を中心に好調な滑り出しで県高校大会に臨み、優勝候補というプレッシャーの中で、聖光学院とジュニアの大熱戦を演じ、苦闘を精神力でカバーして優勝旗を手に入れることができました。七月のNHK杯東北高校バレーボール大会(花巻市)では、五回出場の影響を受け、わが校の伝統の重みをズシリと感じたものでした。八月、秋田県鹿角市で行われたインターハイに出場し、高輪・市立神港と対戦しましたが、全国レベルの力の大きさを身をもって知り、それでも大きな大会に出場したという事で、生徒の自覚も一層高まり、意欲的に練習に励んでいます。先輩諸兄には、合宿や夜間練習に参加戴き有難く思っています。現在は新体育館で、基礎体力を作りながらシーズン待っています。

(教諭 加藤 正明)

# 未開の C+Cへ

## ▼体操部

59年度成績  
県高校大会 団体総合3位  
県総合体育大会 団体総合2位  
県新人大会 団体総合2位

3年の滝沢、渡辺の力はチーム得点の原動力であった。種目別で優勝した渡辺はダブル宙・2回ひねり宙などの高難度の技により、東北大会、国体へ出場し、本県チームで活躍をした。新人大会は1年生だけのメンバーで苦しい試合となったが、円谷の2回宙、2回ひねり、鈴木の転回ひねり、山田の2回宙、小野間の総合力によるものであった。

現在、新にC+Cの高難度で高校生として未だ発表されていない「シヤギニア」から全転向下りもできるようになってきた。今後、規定の完成をめざして、チーム力でがんばりたいと思います。

(教諭 渡辺 侃)

# 北工、県南 地区制覇

## ▼バトミントン部

今年本校に舞い戻り顧問を引き受け、知識と指導力のないまま一年が経過しました。この一年間県大会目標に厳寒の深夜遅くまで練習に励んできました。その結果団体戦を除いて個人戦では、「県南に北工バドミントン部あり」の名で制覇し、各種県大会、東北大会等で上位に入賞、特に宗形建二君は、シングルスのプロレーヤとしてすばらしい技を持っており、東北大会二回出場、盛岡市で行なわれた全国高校選抜東北予選会では、準決勝東興義塾と対戦し、ファイナル・ゲームとなり、熱戦の末セテイングで一点の差で惜敗無念の涙を飲みました。この悔しさを来年の大会で圧勝し、ぜひ全国大会に出場したい。なお、宗形君は、中国バドミントン研修派遣に男子から推薦されました優秀選手でもある。これからは、精神力と気迫を身に付けながら技の向上に努めたい。

(教諭 水田 守)

# 新装文化 センターで

## ▼吹奏楽部

一月二十七日、新装なった郡山市民文化センターで第8回吹奏楽部定期演奏会と開催しました。立見席も埋まる満員の聴衆のみな様に一年間の練習の成果を披露しました。特に三年生は高校生活の最後の演奏会を素晴らしいものにしようと全員で準備に演奏にと力のかぎりを尽くしました。

さて今年度をふり返ってみますと各種パレード参加吹奏楽コンクール、サッカー県大会でのフィールド、ドリル、郡山市制60周年記念小中高音楽祭、喜久田中国文化祭での招待演奏など充実した思い出多い一年でした。特に吹奏楽コンクールでは個人審査1位と3位をとりながらあと一歩おぼろげながら銀賞に終わりましたが暑さも忘れて全員で「運命の力」をつくり上げていった充実感、これこそ音楽する喜びだと思いき、これからも大切にしていきたいと思えます。そして定演を終えた今、新しい感動を求めて励んでいます。

(教諭 中山 郁子)

# 神宮球場 で奮闘

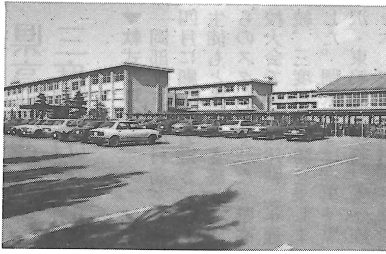
## ▼生徒会(定)

今年の夏は暑かった。そしてこの暑さに負けぬ程、熱く燃えた年でもあったと思う。

全国定通大会に出場した野球部は、特に第二試合の会場となった神宮球場において、選手も応援する側もいつまでも心に残る感激を味わうことができた。

正月にテレビ放映された野球部の合宿、試合、敗れた時のくやし涙の風景は暑い夏の思い出を新たなものにし、部活動がいかに楽しく充実したものであったかを物語っている。全国大会に出場したのは野球の他、テニス、卓球、柔道と例年になく盛上りのあった年。これも北工定時制生徒会を支える生徒諸君の熱心な参加があったからです。また他の行事でも大変充実していたと思う。春の球技大会やホーリング大会、生活体験発表会においてできた成果を収めることができたのも生徒諸君の熱意と協調によるものと信じている。

(教諭 永沢 照伊)

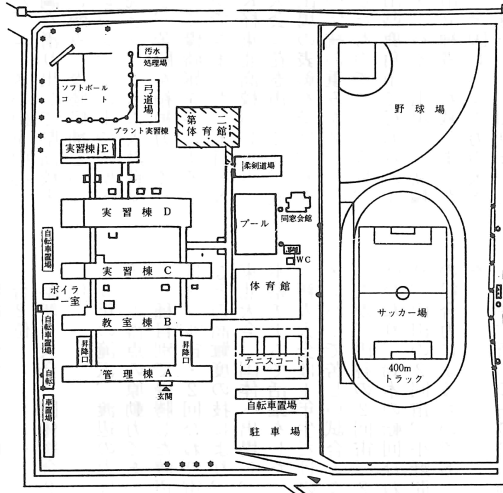


昨年五月から建設工事が進められておりました第二体育館が竣工し、一月二十三日十一時から学校及び各団体役員等多数が参列し、今後の部活動の活躍と安全を祈願して厳粛に落成竣工祭が行なわれました。  
 高等学校の第二体育館としては、県南方部に初めて本校に建設されたものです  
 が、更に各部の健闘と飛躍を期待いたす次第です。  
 (事務長 佐久間英男)

# 第二体育館落成 福島県南初めて

## 郡山北工現勢 1984. 5.1

位置	東北	経緯 (度)	140° 22' 44"
	標高 (米)	緯度 (度)	37° 30' 26"
		高 (米)	245
校地等	敷地 (平方米)		87,297
	うち運動場 (㊦)		39,800
	校舎 (㊦)		17,500
生徒	全日	制	1,231
	(うち女子)		(128)
教職員	全定	日時制	115
		計	24
進路	進学		37
	産別	第2次	267
定	全日	第3次	68
	就職地域別	他	0
定	福島県		231
	東京圏		85
	東北		15
	宮城県		2
	他		2
	国鉄郡山		16
	他		13



校舎配置図

第二体育館の概要  
 総面積 八九二㎡ (内用具室六〇㎡)  
 バスケコート 二面  
 バレーコート 二面  
 バドミントンコート 二面  
 総工事費 一〇五七二四千元  
 着工 昭和五十八年五月三十日  
 完成 昭和六十年一月十六日  
 建設業者 寺島建設株式会社  
 主体工事 池添電設株式会社  
 電気設備工事 株式会社栗原工業所  
 給排水設備工事 株式会社栗原工業所

## 支 部 連 絡 先

〒	支 部 名	支 部 長 名	卒 業 年 度	勤 務 先	現 住 所
145	東京方部	小野寺 昭	23キ	日東紡績(株)建材営業本部住宅建材営業部	東京都太田区北嶺町27-4
320	宇都宮方部	吉田 良毅	31キ	富士重工(株)宇都宮製作所生産部第二生産課	栃木県宇都宮市今宮4-1973-3
312	水戸方部	山崎 功	29キ	(株)日立製作所水戸工場	茨城県勝田市中根4950-14
316	日立方部	山川 敏夫	27キ	(株)日立製作所日立工場	茨城県日立市金沢町5-7-5
362	埼玉方部	土屋 勇	29キ	日産ディーゼル(株)上尾工場	埼玉県上尾市緑ヶ丘1-2-23
203	東京事務局	渡辺 達良	28ケ	建築工房いらか	東久留米市滝山6-2-12-402
961	白河方部	清水 国雄	25キ	清水建設工業(株)	白河市南町44
969-13	郡山市役所方部	加藤 宰司	25キ	郡山市役所	安達郡大玉村玉井字薄黒内127
963	日東富久山方部	高橋 英雄	25キ	日東紡績(株)富久山工場	郡山市安積町柴宮27-10
963	会 長	渡辺 達良	24キ	文房具商	郡山市麓山1-16-28
963	本部事務局長	広江 力男	24キ	県立郡山北工業高等学校	郡山市長者2-17-6

“今日のスタミナ源” 味とボリュームの弁当  
 給食弁当・仕出し **ホクト一食品**  
 寿司, おにぎり, オードブル, etc 代表取締役 島崎 清 (42年建卒)  
 ご予算に応じて調整いたします 郡山市山崎305-90 TEL 22-0166

事務局だより

昭和59年度

# 定例総会報告

## 今後、入学・卒業生の呼称変える

昭和五十九年度定例総会は、五月十三日(日)午後二時より「多楽食堂」の二階において職員・来賓多数の御臨席を得て、同窓生十三名が参加して開催されました。総会が始まり、会長より出席された来賓の紹介があり、また広江事務局長より、職員の紹介があり

議事が進み、おもな内容は、決算報告、予算案等が別紙の通り可決された。続いて事務局より開催期日について五日の第二週日曜日(高体連の県南予選日)なので、第三週にしてはどうかという動議があり、満場一致で来年度より総会は五月の第三週に実施することに決定した。また学校長より同窓生との関係から入学式、卒

業式の第何回という方法を昭和何年度入学式、卒業式という形に変えて行きたい、このような方法で実施をすれば卒業生も学校に対して関心をもってくれるようにして行きたい旨、発言があった。これで全て終了いたしました。続いて恒例の懇親会が盛大に行なわれました。

### 同窓会予算・決算報告

#### 1. 収 入

項 目	昭58決算	昭59予算
繰越金	27,050	1,618
会費	1,311,000	1,248,000
会利	2,595,000	1,347,000
雑収入	6,523	100
雑収入	60,000	60,000
合計	3,999,573	2,656,718

#### 2. 支 出

基本金	262,200	249,600
会議費	143,570	140,000
事務費	129,285	50,000
慶弔費	144,700	120,000
通信費	346,180	370,000
旅費	37,200	95,000
会誌編集費	175,000	130,000
渉外費	25,000	30,000
記念品	109,820	150,000
事務局業務費	80,000	80,000
工務費	100,000	0
返金	45,000	42,118
雑費	2,400,000	1,200,000
合計	3,999,955	2,656,718

#### 昭和59 基本金会計

1984. 4. 1

収 入	繰越金	金 子	計
昭59	(3,000×)		249,600
	(416×0.2)		
計			3,213,136

(事務局 広江力男)

### 教 職 員 異 動

1984.3.31

職 名	科 名	氏 名	転出先	職 名	科 名	氏 名	転入先
校長	機械	山口 博	退職	校長	数理	松本 紹夫	埼玉高
教頭	体育	箱崎 和雄	矢吹高	教頭	理科	菅野 祐一	白河二高
教諭	数学	佐々木 英高	退職	教諭	数学	渡辺 慶一	船引高
〃	理科	室塚 幸喜	〃	〃	機械	水田 守	二本松工
用務員	〃	小磯 永治	〃	〃	電気	池添 祥史	〃
時講	体育	佐久間 郁男	〃	〃	体育	田崎 一宇	田村高
教諭	理科	本多 彦一	埼玉高	〃	社会	吉田 正夫	白河実業
〃	電気	船山 雅行	二本松工	〃	大河 峰夫	県教育庁	
〃	機械	岡部 孝	白河実業	〃	建築	馬場 彦吉	福島工高
〃	建築	佐久間 和司	福島工高	〃	数学	春山 登	小野高
〃	国語	桜井 正直	須賀川女	〃	理科	三浦 太吉	石川高
〃	体育	岡部 誠彦	田村高	〃	〃	川口 芳彦	埼玉高
〃	機械	稲垣 博司	埼玉高	実助	機械	根本 光男	二本松工
〃	情報	大須賀 栄一	二本松工	司書	図書	吉富 洋子	東白農商
〃	国語	野内 建寿	郡山商高	用務員	〃	渡辺 千尋	小松醤油
〃	数学	吉成 克彦	郡山女高	時講	体育	片岡 英一	新卒
〃	〃	菅野 幸治	二本松工	〃	家庭	尾形 秀枝	〃
実助	機械	渡辺 典夫	川俣高	教諭	機械	永沢 照伊	白河実業
司書	図書	若松 登子	勿来高	〃	理科	鈴木 信介	安積高
時講	社会	田中 誠	安積高	〃	〃	佐藤 次広	新採用
常講	電気	宗像 末寿	二本松工	常講	英語	橋本 宏一	田島高



### 新 入 会 員

科	85.2.28	84.2.29
機械	119	118
電気	77	75
電子	38	40
情報	39	38
建築	38	39
工 学	73	77
定・機	11	17
定・電	16	12
計	411	416

良い子が育つ良い牛乳

あぶくま高原牛乳・あぶくま牛乳

## 岡田乳業株式会社

郡山営業所 ☎23-5733

小原田販売所 ☎33-3281

おいしいパンとケーキ

## 大友パン店

郡山市さくら通り ☎23-6536

# 同窓会規約

## 第一章 総 則

第一条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、福島県立郡山北工業高等学校(以下「母校」と称す)内におく。

第二条 本会は會員の親睦を図り互助の事業を行ない、母校教育の振興発展に努め、わが国の工業発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- 一 母校の発展と會員の相互扶助に関する事業
- 二 会誌・會員名簿・その他図書印刷物の刊行
- 三 その他目的達成に必要な事業

## 第二章 会 員

第四条 會員を分けて普通會員、名誉會員、特別會員、準會員とする。

- 一 普通會員は県立郡山工業高等学校・県立郡山山西工業高等学校・県立郡山北工業高等学校の出身者とする。
- 二 名誉會員は母校の旧校長とする。
- 三 特別會員は母校の現旧職員とする。

四 在校生は準會員とする。

第三章 役員

第五条 本会に次の役員をおく。

- 一 会長 一名
- 二 副会長 四名
- 三 監事 三名
- 四 常任幹事 若干名
- 五 幹事 事務クラス二名
- 六 事務局次長 一名
- 七 事務局次長 二名

第六条 役員は次のとおりである。

- 一 会長は本会を代表し、会務一切を統括する。
- 二 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代行する。

- 三 監事は本会の運営及び会計を監査し、幹事会に出席し発言できる。
- 四 常任幹事は本会の事業を執行する。
- 五 幹事は本会の事業を審議する。
- 六 事務局次長は会務の処理にあたる。
- 七 事務局次長は事務局長を補佐し庶務を分担する。

第七条 本会の役員は次の方法によって選出し、その任期は二年とする。但し再任を妨げない。

- 一 会長・副会長・監事は総会において選出する。

第八条 本会の会議は総会・幹事会・常任幹事会とする。

一 総会は本会の最高決議機関であつて、毎年一回会長がこれを召集する。但し幹事会が必要と認められた場合は、臨時に開くことができる。

二 総会には出席人員をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意を必要とする。

二 幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・幹事・監事で構成し、総会につぐ決議機関である。

三 常任幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・監事で構成し、会務を審議執行する。

第九条 必要に応じて、役会を開くことができる。

正副会長・事務局次長を構成する。

第五章 会費・会計及び諸帳簿

第十条 本会の経費は会費・入会金・事業収入・寄附金をもってこれをあてる。

二 常任幹事・幹事・事務局次長は会長が委嘱する。

三 事務局次長は事務局長が選任する。

第四章 会 議

一 総会は本会の最高決議機関であつて、毎年一回会長がこれを召集する。但し幹事会が必要と認められた場合は、臨時に開くことができる。

二 総会には出席人員をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意を必要とする。

二 幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・幹事・監事で構成し、総会につぐ決議機関である。

三 常任幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・監事で構成し、会務を審議執行する。

二 規約

- 一 規約
- 二 會員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十四条 本会に次の帳簿をおき、事務局で保管する。

一 規約

- 一 規約
- 二 會員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十五条 本会に次の集會を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会

第十六条 本会に次の内規を設ける。

普通會員は卒業の際終身会費三千元を入学時に入会金三千元を納入する。

但し定時制は卒業時に入会金三千元と終身会費三千元を納入する。

第十二条 本会の入会金・終身会費の二割を、基本金として積立てる。

第十三条 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終る。

本会の収支は毎年三月末日において決算し、総会に報告する。

第十四条 本会に次の帳簿をおき、事務局で保管する。

一 規約

- 一 規約
- 二 會員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十五条 本会に次の集會を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会

第十六条 本会に次の内規を設ける。

一 表彰内規

- 一 表彰内規
- 二 旅費内規
- 三 慶弔内規
- 四 会計内規

第十七条 本會會員は氏名・住所・勤務先等に変更があつた場合、直ちに事務局に連絡しなければならぬ。

第十八条 規約の変更は総会において、出席會員の過半数の賛成を得なければならぬ。

第七章 附 則

- 一 この規約は昭和五十二年十二月十八日より施行する。
- 二 この規約は昭和五十五年五月十八日より施行する。

一 規約

- 一 規約
- 二 會員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十五条 本会に次の集會を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会

第十六条 本会に次の内規を設ける。

一 表彰内規

- 一 表彰内規
- 二 旅費内規
- 三 慶弔内規
- 四 会計内規

第十七条 本會會員は氏名・住所・勤務先等に変更があつた場合、直ちに事務局に連絡しなければならぬ。

第十八条 規約の変更は総会において、出席會員の過半数の賛成を得なければならぬ。

第七章 附 則

- 一 この規約は昭和五十二年十二月十八日より施行する。
- 二 この規約は昭和五十五年五月十八日より施行する。

一 規約

- 一 規約
- 二 會員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十五条 本会に次の集會を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会

第十六条 本会に次の内規を設ける。

一 規約

- 一 規約
- 二 會員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十五条 本会に次の集會を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会

第十六条 本会に次の内規を設ける。

一 規約

- 一 規約
- 二 會員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十五条 本会に次の集會を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会


第十六条 本会に次の内規を設ける。

一 規約

- 一 規約
- 二 會員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

## 編集後記

昨冬の積雪二・三に対し、今冬一メートル。気象庁は暖冬、酷寒とクルクル舞い。一九四四年、太平洋戦争の為できた郡山工(菜根↓桃見台)、資本の高成長期一九六三年にできた郡山西工(虎丸↓大槻)、郡山北工は一九七七年、郡山高(大槻)、安積二高(桃見台)と共に、本地に創立、卒業生一万三千四百六十八名。(編集委員 高野和雄)



総合防災プランナー  
火災発見より消火まで

# 田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子久治 (昭和42年卒)

福島県郡山市安積町荒井字下北井前4の1 ☎ (0249) 45-2882(代)